

主題：イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶことによって、
キリストのからだの実際の中に生きる

メッセージ 2

イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶことによって、
キリストのからだの実際を生きる

聖書：エペソ4:20-24. ヨハネ7:37-39. ピリピ4:11-13. マルコ6:45-51.

ダニエル4:25-26. 7:25

I. 神の心の願いは、「イエスにあるあの実際」(エペソ4:21)、すなわち、四福音書に記録されているイエスの神・人の生活の実際の状態が、キリストのからだの多くの肢体において、実際の霊によって複製されて、神のエコノミーの最高峰であるキリストのからだの実際となることです——20-24節：

A. 四福音書が見せているのは、神が願っている生活のパターン、すなわち、神を満足させ、彼の定められた御旨を成就することのできる生活の原型です。キリストを学ぶとは、キリストの原型に形成されること、すなわち、キリストのかたちに同形化されることです——ローマ8:28-29. エペソ4:20-21。

B. わたしたちがミングリングされた霊（神聖な霊がわたしたち人の霊の中に住んでおり、これら二つは共にミングリングされて、一つ霊になっている）の中で生きるとき、実際の霊によって、イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学んでいるのです（ヨハネ16:13. ローマ8:16. I コリント6:17. ピリピ3:3）。このようにして、彼の伝記はわたしたちの歴史となります（ガラテヤ6:17-18. エペソ4:20-24. ピリピ1:8. 2:5, 13）。

II. 栄光を受けたイエスの霊には、イエスの造り変えられた人性があります。一つからだのために、一つ霊を飲んで、流し出すことは、人なるイエスの霊、すなわち、イエスの人性を、神性により豊かにされたイエスの美德（へりくだり、柔和、辛抱強さ）と共に、飲み、流し出して、愛の中で互いに忍び合うことです——ヨハネ7:37-39. I コリント12:13. 使徒16:7. エペソ4:2-3. I テサロニケ1:5：

A. 召会生活の中で、キリストのからだの実際の中に生きるために、わたしたちはキリストの人性の中で、彼をわたしたちの謙虚と柔和として経験する必要があります。謙虚であるとは、低い身分にとどまっていることであり、柔和であるとは、自分のために争わないことです——エペソ4:2. ピリピ2:5-8. マタイ11:29. 5:40. マルコ10:45. ヨハネ13:12-17。

B. 召会生活の中で、キリストのからだの実際の中に生きるために、わたしたちはキリストの人性の中で、喜びをもって彼をわたしたちの辛抱強さとして経験する必要があります。辛抱強さとは、からだのために虐待を耐え忍ぶことです——コロサイ1:11, 24。

C. 召会生活の中で、キリストのからだの実際の中に生きるために、わたしたちはキリ

ストの人性の中で、愛の中で忍び合うこととして彼を経験する必要があります。ときどきわたしたちは主に多くの問題をもたらしますが、主イエスは常にわたしたちを耐え忍びます。召会生活の中で、わたしたちは問題のある人たちを放棄すべきではなく、命であるキリストをわたしたちが享受することの表現として、彼らを愛の中で耐え忍ぶべきです——エペソ4:2, 31-32. ローマ2:3-4. I テサロニケ5:12-18. 参照、詩73:21-26。

D. 主の御名を呼び求めて、彼を満喫するなら、わたしたちはイエスを人として享受します。そして、彼の高く上げられた人性のすべての美德は、イエスの霊の中でわたしたちのものとなります。それは、実際の霊の中で、回復された召会生活を実行して、キリストのからだの実際となるためです——I コリント1:2. 10:3-4, 17. 12:3後半, 13. ヨハネ16:13. エペソ4:3-4前半。

E. わたしたちはみな、十分に主との個人的な時間を費やして、わたしたちの霊の中で秘かに彼と交わる必要があります。それによって、わたしたちは彼の栄光を受けた人性で満たされて、彼がわたしたちを通して人を牧養し、またわたしたちを通して輝いて、人がわたしたちの中に彼を見ることができるようになります——ヨハネ4:24. ルカ15:20. マタイ5:15-16。

Ⅲ. わたしたちは満ち足りることの秘訣としてキリストを取り、またわたしたちが生き、内住するパターンとして彼を取ることを学んで、計り知れず豊かな実際の霊として彼を享受しなければなりません。この方はキリストのからだの実際です——ピリピ4:11-13. 1:19:

A. 主イエスが来たのは、命であるご自身をもってわたしたちに仕えるためです。彼は過去にわたしたちに仕えただけでなく、現在も仕えており、将来もまた仕えてくださいます——マルコ10:45. ルカ22:26-27. マルコ6:45-51. ヨハネ10:10. 6:48. 8:12. 13:4-8. 18:7-9. ルカ12:37。

B. 主の務めは、神に喜ばれる唯一の生活、すなわち、キリストが地上で生きた生活の繰り返しである生活としてのご自身をもって、現在わたしたちに仕えることです——ヨハネ1:4. 14:6前半. 10:10. I コリント15:45後半. マタイ11:29前半. 17:5後半. I ペテロ2:21。

C. イエスにあるあの実際であるキリストを学ぶために、わたしたちが認識する必要がありますのは、わたしたちには今日しかないということです。わたしたちに明日はありません。今日主の中にとどまり、主と共に明日のことを放っておくことは、わたしたちの思いを霊に付けることです（ローマ8:6）。わたしたちの霊なるキリストは、わたしたちの現在の必要を満たす、「わたしはある」であり、「今の」キリストであり、「今日の」キリストであり、現在の神の臨在です（ヘブル3:7, 13, 15. ヨハネ8:58. 出33:11, 14）。

D. からだの肢体として、わたしたちはからだを通して、からだのために、からだの供給によって、主のあわれみを求めて彼に期待して、復活を享受したラザロのようであればなりません。彼は主の力の無言の証し、主の愛の証明者、主の恵みの現れとなりました——創2:22. ローマ9:16. ヨハネ12:1-3, 9-11. 参照、伝9:4:

1. わたしたちは死んでおり、臭くなっており、冷たくなっており、主から遠く離れ

てしまっているかもしれませんが、今もなおここにいます。ここに座しているとき、何も行なわず、何も語らないかもしれませんが、わたしたちは主イエスがわたしたちを復活させたことを思い起こさせる生きた証しです——ヨハネ11:38-45. 12:9-11。

2. 復活とは、わたしたちが自分の力では何も行なうことができず、神の中でしか、神を通してしか事を行なえないことを意味します。これは「人にはできない事でも、神にはできる」ことを意味します——ルカ18:27. 民16:3, 7-11, 36-38. 17:1-8. ローマ12:4。

IV. わたしたちがイエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶ過程にあるとき、わたしたちは彼の全きみこころにしたがって、わたしたちのために定められた旅、過程を探し求め、キリストのからだの実際のために、地上で天的な生活をするというわたしたちの過程を終える必要があります——マルコ6:45-51. 使徒13:25, 36. 20:24. II テモテ4:7-8. 使徒26:16 :

- A. キリストの昇天から彼の再来まで、この世は長い夜の中です。「夜はふけて」(ローマ13:12)、わたしたちの舟は「海の真ん中にあり」、わたしたちはまだ旅の最終目的地に到達していません(マルコ6:45-48. ヨハネ6:21. 参照、II テサロニケ2:2. II テモテ3:1-13)。
- B. わたしたちが認識する必要があるのは、忠信な信者たちの旅が「逆風のために……こぎ悩んでいる」ことを経験するものであるということです。わたしたちは主を、わたしたちの「舟」(結婚生活、家庭、仕事、その他)に乗り込ませ、人生の旅路で彼と共に享受する必要があります——マルコ6:47-51. ヨハネ6:21。
- C. 主が来られる前に、脱落すること(II テサロニケ2:3)と危険な時があるようになり、「邪悪な者や詐欺師は、欺き欺かれながら、ますます悪くなっていきます」(II テモテ3:1-13)。なぜなら、人々は真理の愛を受けることなく、「神は惑わす働きを彼らに送って、彼らが虚偽を信じるようにされた」(II テサロニケ2:11-12. イザヤ5:20)からです。

V. 近頃、主の到来の夜明け前に(II ペテロ1:19)、わたしたちはサタンの疲れきらせる策略に抵抗し(ダニエル7:25)、キリスト・イエスにある恵みの中で増強され(II テモテ2:1)、主からあわれみを受けて、忠信になる(I コリント7:25後半) 必要があります。それは、彼がわたしたちのために定められた旅をして、彼のからだを建造するため、彼の花嫁を用意するため、彼を再来させるためです(マタイ16:18. 創2:22. 啓19:7) :

- A. サタンは常に神の子供たちを攻撃するために働いています。彼の攻撃は隠されてはいませんが、ほとんどが徐々にやって来ます。ですから聖書は、多くの人の愛が冷えて「くる」と言います(マタイ24:12)。サタンは神の子供たちを徐々に、繰り返し、たびたび、日ごとに疲れ切らせます(エペソ6:13) :

1. サタンは神の子供たちの体を疲れ切らせます。彼は今日人々の食べる物を少しだけ削らせ、明日は少しだけ睡眠を削らせます。彼は今日彼らを少しだけ疲れさせ、明日も少しだけ疲れさせます。この疲れの蓄積効果が完全に彼らの健康を損ないません。もしわたしたちが時間を贖うなら、わたしたちの人生の中で、神の奉仕の

霊的な有用性に関して最も実りの多い時期は、七十歳から八十歳までか、実に九十歳であるはずです。主のしもべたちが認識しなければならないのは、健康が第一であり、働きは第二であるということです——参照、申34:7。

2. サタンはわたしたちの心を疲れ切らせます。わたしたちが主を信じて、召会生活の中へと入って来たとき、わたしたちは幸いで、歓喜しており、平安がありました。しかし、もしわたしたちが目を覚ましておらず、サタンの働きを知らなければ、わたしたちはある日、突然安息をなくし、次の日は幸いでなくなり、その翌日は落ち込んでしまうでしょう。わたしたちは少しずつ後退し、最終的には疲れ切り、落胆してしまうでしょう。そうなるのではなく、わたしたちはいかに自分の喜びを保つかを学ぶ者たちでなければなりません——箴4:18-23. ローマ14:17. エレミヤ15:16。
 3. サタンはわたしたちの霊を疲れ切らせます。彼はわたしたちの祈りと神への信頼を少しずつ取り去ります。自分の愛する方に寄りかかる者、キリストを愛する者となって、あらゆることにおいて、あらゆることのために、どうしてもなく彼に信頼するよりも、彼はますますわたしたちを、自分自身に、自分の賜物に、天然の能力に頼るようにさせます——雅8:5前半. II コリント1:8-9。
 4. サタンはわたしたちの時間を消耗させます。「今の日々は邪悪ですから」、わたしたちは「時を贖」う人である必要があります（エペソ5:15-16）。毎日は邪悪な日であって、有害なものに満ちており、わたしたちの時間を無駄に使わせ、削減させ、剥奪させます。わたしたちは自分の日々を数えることを教えてくださるように（詩90:12）、またいなごが食べた年月をわたしたちに償い戻すように（ヨエル2:25）、主に願うべきです。
 5. サタンはわたしたちの献身を疲れ切らせます。サムソンはナジル人であり、彼の長い髪の毛に表徴されている彼の力の源は、神に対する彼の献身でした。サタンはデリラを利用し、彼女は日ごとにサムソンに言い寄りました。ついに、サムソンの魂はひどく悩まされて、自分の心の中にあるすべてを彼女に告げて、彼の力の源を明らかにしました。こういうわけで、彼は自分の献身、自分の力、自分の聖別の証し、神の臨在を失いました——民6:2, 5. 士師16:6-21. 参照、レビ6:12-13. 8:22。
- B. わたしたちがイエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶ過程の中にあるとき、イザヤが神の民の間の墮落と地上にいる民の間に増し加わる暗やみを観察した時のように、とても落胆してしまう可能性があります——イザヤ5:20. 6:1-8:
1. イザヤに現れた方は主であり、王であり、万軍のエホバであるキリストでした（5節. ヨハネ12:41とノート）。この地においては、あらゆるものが変化し、変動しますが、主なるキリストは今もなお栄光の御座に座しています。このゆえに、わたしたちは地上での状況を見下すべきではなく、御座にいますキリストを見上げるべきです（ヘブル12:2. コロサイ3:1-2）。
 2. 天の神による天の支配の下で、彼は地のすべての王たちと国々を含む（啓19:16）宇宙を管理していますが（ダニエル2:25-26）、それはキリストが万物のうちで首位となる（コロサイ1:18）という神の目的を成就するためです。天の支配の下

で、神の選びの民には、キリストを首位とならせるという目的のために、すべてが共に働いて益となりますが、それによって彼らは彼のかたちに同形化されることが出来ます（ローマ8:28-29）。

© 2022 *Living Stream Ministry*